

社会科学学習指導案

3年1組 30名 指導者 曲田 遼

本授業は、以下の検証を行うものである。

振り返りにおいて、「社会科の虫眼鏡（見方・考え方シート）」を活用し、問いを焦点化したり、新たな問いを考案したりすることは、学習を振り返ったり、見直したりして追究・解決しようとする「主体的に学習に取り組む態度」に着目した授業改善の手立てとして有効であったか。

1 小単元 学校のまわり（大単元 1 わたしたちのまち みんなのまち）

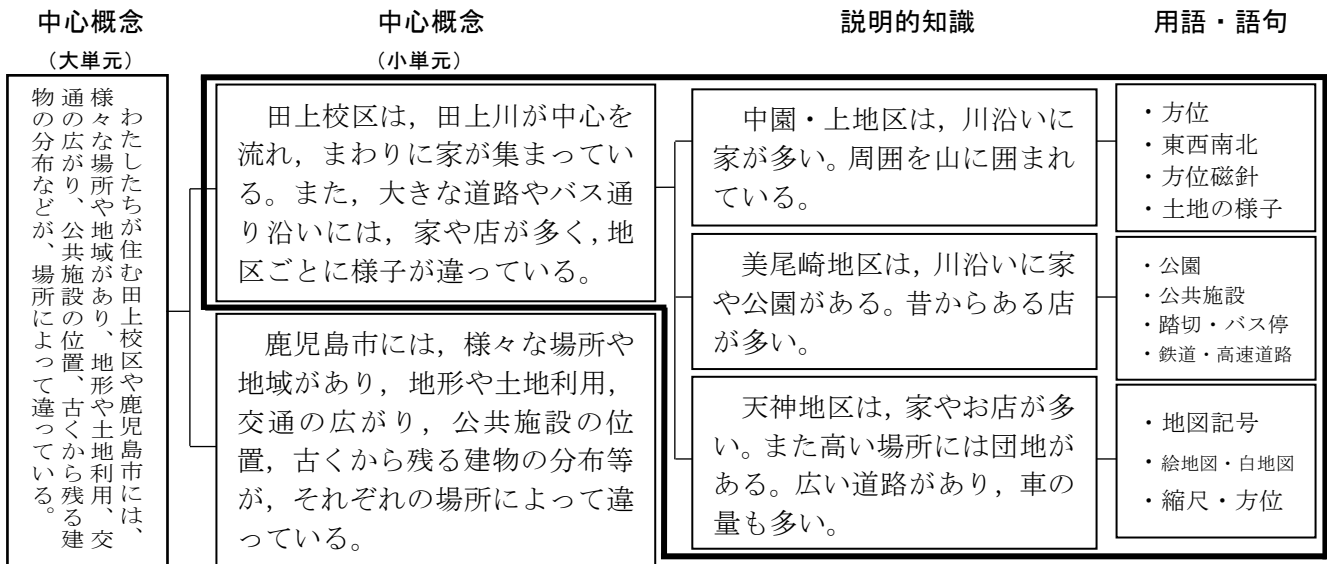
2 目標

学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで、学校のまわりの様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養うことができるようにする。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 学校のまわりの地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。	○ 学校のまわりの地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、身近な地域の様子について考え表現している。	○ 学校のまわりの様子について、予想したり、主体的に調べようとしていたりしている。

4 大単元における小単元の位置について（概念構想図）



5 単元について

(1) 単元の位置とねらい

本小単元は、学習指導要領の第3学年の目標（2）及び（3）の一部を達成することをねらいとして設定した。子供にとって一番身近な地域である学校の周りについて調べることで、地形等の地理的な条件や多くの人々が住む町等の社会的な条件により、場所によって違いあることが分かるようにすることをねらいとする。また、それらの様子については、見学や聞き取り調査を行い、それを絵地図や平面地図に表現する活動を通して、具体的に考えることもねらいとする。

そこで、同じ校区ではあっても、場所によって違いがあることをより具体的に考えることができるようにするために、地形や土地利用の様子、公共施設、交通の様子、古くから残る建造物等を取り上げていくことにする。本校が位置する地域は、田上川（新川）の両岸に広がる町である。学校のまわりには、商店街があり、それらの近くは交通量が多く、自家用車やバスが通っている。また、鹿児島本線（JR九州）や九州自動車道等が通り、交通の要所となっている。これらのことを関連付けながら指導していくことで、学校のまわりの具体的な様子から、その特色にも気付くことができると思う。

さらに、調べたことをまとめる際に絵地図や平面地図で表現させるが、地図記号について取り扱うことにする。学習した地図記号を用いて平面地図を作成させることで、地図記号のよさに気付かせることができる。

このような学習を行うことで、子供が今まで気付かなかった身近な地域における社会的事象に目を向けさせるきっかけを与え、地域社会に対する誇りや愛情を育てることにつながると思う。

(2) 子供の実態

本学級の子供は、3年生になって初めて社会科の学習が始まったこともあり、社会科の学習への関心が高い。生活をしている校区や学校のまわりについて、言葉や図で整理してみると、これまで気付かなかったことに興味をもち、更に意欲的に学習に取り組もうとする姿も見られる。また、ペアやグループ学習では、自分の考えを相手が分かりやすく伝えようとする工夫を行い、相手の考えを自分の考えに取り入れようとする姿も見られている。

(3) 指導上の留意点

本小単元では、学習問題を追究・解決する中で、「社会的事象の見方・考え方」を働かせる有用性に気付かせることで、問題意識をもち、自ら進んで追究したり、他者と協働したりしながら社会科の視点から学校のまわりの様子を捉え直すことができるようにする。

「つかむ・見通す」過程では、屋上から学校のまわりの様子を観察して気付いたことを基に学習問題をつくり、予想をさせる。

「調べる」過程では、三地区（中園・上、美尾崎、天神）の調査を行い、追究の柱について分かったことを白地図にまとめることで、各地区の特徴や共通点・相違点に気付くことができるようにする。また、一単位時間の「振り返り」の学習過程で、自らの学習を見直したり、新たな気付きを共有したりする時間を設定することで、次の過程につなぐことができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では、概念構想図を基に単元を振り返らせ、ペアやグループでの対話活動を取り入れることで、中心概念を獲得することができるようにする。さらに、「新たな問い」を考案する活動を位置付けることで、問題意識を焦点化し、次の小単元「市の様子」につなげるようにする。

6 指導計画（総時数14時間）

過程	主な学習活動	時間
つかむ・見通す	1 屋上から見た学校のまわりの様子について話し合い、学習問題をつくる。 田上小学校のまわりは、どのようになっているのだろうか。	1
	2 学習問題の予想を立て、学習計画（追究の柱）を立てる。 ○ 建物 ○ 交通の様子 ○ 公共施設の場所 ○ 古くから残る建造物	
調べる	3 追究の柱について調べ、白地図にまとめ、全体で話し合う。 (1) 校区調査（三地区）を行い、学校のまわりの様子について調べる。 (2) 校区調査をして分かったことを白地図にまとめる。 (3) 各地区を比較し、共通点や相違点について話し合う。	6 3 2
まとめる・生かす	4 追究の柱ごとにまとめたことを基に、学習問題についてまとめる。 田上小校区は、田上川が中心を流れ、まわりに家が集まっている。また、大きな道路やバス通り沿いには、家やお店が多く、地区ごとに様子が違っている。	1
	5 これまでの学習でまとめたことから「新たな問い」を見だし、予想をする。	1 (本時)

7 本時（14／14）

(1) 目標

学校のまわりの調査での気付きを基に、「社会的事象の見方・考え方」を働かせた「新たな問い」

を考案する活動を設定することで、田上小校区と鹿児島市との関係に問題意識をもち、「新たな問い」について追究・解決することができるようにする。

(2) 評価規準

学校のまわりの調査を行う中で気付いたことを基に「社会的事象の見方・考え方」を働かせた「新たな問い」を考案する活動を設定することで、田上小校区と鹿児島市との関係に問題意識をもち、「新たな問い」について予想したり、主体的に調べようとしたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、概念構想図や校区地図等の資料を基に、前時までの学習を振り返ることで、本時のめあてにつなげることができるようにする。

「調べる」過程では、校区の調査での気付きや疑問をグループで集約し、子供たちの問題意識を全体で共有することで、「新たな問い」を立てることができるようにする。その際、「社会的事象の見方・考え方」を働かせながら話し合いをすることができるように、「社会科の虫眼鏡（見方・考え方シート）」を活用する。

「まとめる・生かす」過程では、主体的に学習に取り組む態度を評価する汎用的なルーブリックを活用し、自らの学びを振り返らせることで、自らの学びに有用性を感じさせ、次時の学習への意欲をもつことができるようにする。

(4) 本時の展開 [] 子供の意識 ○ 指導の手立て ◎ 資料 ※ 評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	7	1 前時までの振り返りをする。 ・ 三つの地区の様子をまとめたね。 ・ 地域によってそれぞれ違いがある。 2 本時のめあてについて確認する。 田校小校区ちょうさをもとに、もっと調べたいことや考えたいことについて話し合おう。	○ 概念構想図を基に、前時の学習を振り返ることで、本時の学習内容につなげることができるようにする。 ◎ 概念構想図、校区地図
調べる	28	3 グループで、疑問について話し合う。 ・ なぜ、三つの地区の様子は違うのだろう。 ・ なぜ、たくさん家があるのだろう。 ・ なぜ、道路沿いに店が多いのだろう。 ・ なぜ、車の量が多いのかな。 4 全体で、「新たな問い」を立てる。 ・ 交通について、もっと調べたいな。 ・ 田上川のひみつについて、調べたいな。 田校小校区は、なぜ交通量が多いのだろう。 5 「新たな問い」の予想をする。 ・ 川沿いがいつも渋滞になるのは、たぶん田上にはたくさん人が住んでいるからだよ。 ・ ट्रックやバスも多いので、田上の人だけではないはずだ。 ・ 田上は通り道になっているのではないかな。	○ 自分や他者の考えを思考ツールを活用し「見える化」することで、子供たちが主体となって「社会的事象の見方・考え方」を働かせた「新たな問い」について話し合うことができるようにする。 ○ 「社会科の虫眼鏡（見方・考え方シート）」を活用することで、「社会的事象の見方・考え方」を働かせて、グループの意見を分類・集約することができるようにする。 ※ 田上小校区と鹿児島市との関係に問題意識をもち、「新たな問い」について予想したり、主体的に調べようとしたりしている。 （付箋紙・ノート、発言） 【主体的に学習に取り組む態度】
まとめる・生かす	10	6 本時の学習について振り返る。 田上小校区のひみつを解き明かすためには、鹿児島市について知る必要がある。 7 学び方について振り返る。 ・ 「見方・考え方シート」を使って話し合うことができたよ。 ・ これまでの学習を生かして、次の学習につなげることができたよ。	◎ 交通の様子の写真、鹿児島市地図 ○ ルーブリックを活用した自己評価に取り組むことで、学び方（見方・考え方）を自覚させ、今後の自己の学びに生かすことができるようにする。